奥田 俊介 OKUDA SHUNSUKE

教員の教育・研究活動報告

役職／職名	講師	所属	外国語学部 英米語学科
ふりがな	おくだ しゅんすけ	生年	1990年
学歴	京都大学総合人間学部総合人間学科　卒業（2013年） 京都大学大学院人間・環境学研究科共生文明学専攻修士課程　修了（2015年） 京都大学大学院人間・環境学研究科共生文明学専攻博士後期課程　単位取得退学 退学（2020年）		
学位	学士（総合人間学）【京都大学、2013年】 修士（人間・環境学）【京都大学、2015年】 博士（人間・環境学）【京都大学、2020年】		
研究分野	アメリカ外交史、国際関係史、対外関係政策		
研究テーマ	冷戦期アメリカのアフリカを中心とする対第三世界外交、英米を中心とする周辺国外交		

主な研究業績

著書

題名	単・共	発行日	発行所名	備考
「教育」をめぐる冷戦 – ケネディ・ジョンソン政権のAID教育アフリカ教育援助・交流活動を例に –	単	2026年5月	染華書房	
アメリカが創る世界、世界が創るアメリカ: アメリカ力の新地平	共	2025年11月	昭和堂	第6章（東アフリカの高等教育と大衆化 — 米国のニつのTrump ガ・プログラム を例に）
First Step to College English	共	2024年12月	名古屋外国語大学出版会	14単(話者)、15単(不定詞・動名詞)

学術論文

題名	単・共	発行・発表日	発行雑誌又は発行学会等の名称	備考
「教育」をめぐる冷戦 – ケネディ・ジョンソン政権のAID教育アフリカ教育援助・交流活動を例に –	単	2023年7月24日	京都大学	博士論文
第二次大戦後アメリカの「教育外交」の系譜の終焉 -1967年『カッシュバック教養会報告書』を手掛かりに-	単	2021年2月	アメリカ史研究	
フォード利団と一九五〇年代のアフリカを巡る冷戦――利団の『対アフリカ教育援助計画策定過程』に着目して	単	2020年3月	国際政治	
林雙・行動会訪台は非教育外交	単	2017年9月	近現代国防関係史研究	単著だが、英語で書いた原稿をジャーナルの編集者が和訳の上出版された。
ラテン・アメリカにおける第二次世界大戦終アメリカの対ナチス・ドイツ広報外交戦 – 「教育」という言葉に着目して –	単	2016年3月	社会システム研究	
ケネディ政権の対アフリカ広報外交 – 「教育外交」を例として –	単	2015年12月	人間・環境学	

学会発表等

題名	単・共	発行・発表日	発行学会等の名称	備考
2024年大統領選にみるアメリカ政治の偏在	単	2024年12月17日	社会科学研究所（中原大学）2024年度第二回学術講演会	
What is the Africa-America Institute?	単	2024年8月4日	Study Abroad研究会	
民間利団は独立したアクターか？ -1960年代のフォード利団とアメリカ政治の関係性を例に-	単	2024年6月2日	アメリカ学会　第58回年次大会	
アメリカ外交と「教育援助」-1960年代の対東アフリカ外交を例に-	単	2023年10月20日	地域・星雲研究会(前身)公立大学地域分析研究書発会)	
「スプラー委員会報告書」と「国際開発プブランス の検討 –アイゼンハワー・ケネディ政権の広報外交政策の連続的理解を目指して–	単	2019年2月3日	関西アメリカ史研究会　第235回例会	
1960年代のアフリカを巡る各利関国国内問題解決型連携 – 米英の対話を中心に	単	2018年9月23日	日本アメリカ史学会 第15回年次大会	
1960年代に至るフォード利団のオアフリカ教育援助とその論理	単	2017年5月21日	日本西洋史学会 第17回大会	
Lyndon Johnson's Africa Diplomacy and its Educational Elements, 1964-1966	単	2016年7月2日	Globalizing the Cold War	
リンドン・ジョンソン政権の対アフリカ広報外交と国際会教育・文化期 –1964–69年	単	2016年6月	アメリカ学会 第50回年次大会	
ジョンソン政権期初のアフリカ外交政策構想 – ジョンソン政権の連続的理解を目指して –	単	2016年5月	関西アメリカ史研究会 第250回例会	
Public Diplomacy of the Kennedy Administration toward Africa -A Case Study of 'Educational Diplomacy'-	単	2015年4月9日	アメリカ学会プロセミナー2015 @早稲大学	

主な教育上の業績

大学教育の改善に関する活動

活動事項	年月	備考
アカデミック・スキルズ科目で使用する教材の作成	2025年度	
学部中属論文コーディネーター	2025年4月-	
オープンキャンパス参画	2025年4月-	
学部印書委員	2024年4月-	
学内FD研修会での報告（アカデミック・スキルズ）	2024年2月9日	
学内FD研修会での報告（アカデミック・スキルズ）	2022年1月20日	
CASP委員	2021年4月-	
CLADセンター員	2021年4月-	
キャリア教育推進委員	2021年4月-2025年4月	
英米語学科リーディングチーム　メンバー	2020年4月-	
英米語学科リーディングチーム　1年構造コーディネーター	2020年4月-2022年3月	

作成した教科書

教科書名（対象講義名）	単・共	年月	備考
First Step to College English（担当：14、15章）	共	2022年12月	（新入生配布用）

主な職務上の業績

社会的活動等

活動事項	期間（年月）	活動機関名
「プレFD」 個人のミカタ	2019年4月-2020年3月	京都大学総合人間学部・人間・環境学研究科
浜松理科教育研究会における講演	2015年6月	浜松理科教育研究会

所属学会

所属学会名称

所属学会名称
関西アメリカ史研究会
アメリカ学会
日本アメリカ史学会
日本国際政治学会
日本西洋史学会
Organization of American Historians（アメリカ歴史家協会）

所属学会役員歴等

所属学会及び役員名	期間（年月）	備考
評議員（アメリカ学会）	2024年度-現在	
年次大会企画委員（アメリカ学会）	2024年度-現在	
会計監査（日本アメリカ史学会）	2020年度-現在	
「アメリカ史研究」編集委員	2021年3月-現在	
会計（関西アメリカ史研究会）	2021年11月-2023年11月	
庶務（関西アメリカ史研究会）	2018年11月-2020年11月	

主な職歴

期間（年月）	事項	備考
2024年9月-2025年3月	中原大学　総合政策学部　非常勤講師（国際政治史）	
2020年4月-2024年3月	名古屋外国語大学　外国語学部　助教	
2018年9月-2020年3月	龍谷大学　法学部　非常勤講師（アメリカ政治論・現代世界の政治）	
2019年4月-2020年3月	京都外国語大学　外国語学部　英米語学科　非常勤講師（クロージル研究セミ１・３・５・６）	１・５は三回生、３・６は四回生向けの合同ゼミを担当。

受賞学術賞

受賞事項	年月	備考
公益財団法人　アメリカ研究振興会　出版助成	2025年11月	（単著出版(2026年5月)

科学研究費等外部資金獲得実績

名称	題名	機関名（期間）	年度	備考
公益財団法人　アメリカ研究振興会　出版助成	「「教育」をめぐる冷戦 – ケネディ・ジョンソン政権のAID教育アフリカ教育援助・交流活動を例に」	公益財団法人　アメリカ研究振興会	2025年度	出版助成金
若手研究	1960年代米国のオアフリカ教育援助と文化冷戦 – 非政府組織「教育と国際開発」を中心に –	独立行政法人 日本学術振興会	2025-2029年度	
名古屋外国語大学 2022年度教育研究助成金助成	ポストコロナ（ニューノーマル）時代における初年次教育のあり方	名古屋外国語大学	2022年度	
2017年度後期海外渡航費助金	無し	アメリカ学会	2017年度（渡航は2018年4月）	OAH参加のための渡航金の一部。額面は無し。
学術特別研究員（DC2）	ケネディ・ジョンソン政権のオアフリカ広報外交	独立行政法人 日本学術振興会	2016－2017年度	
米国研究助成プログラム2014	ケネディ政権のパブリック・ディプロマシーとUSIA	一般社団法人 日米協会	2014年度	

主な担当科目と授業の改善と工夫

主な担当科目名 対象学部・学科

担当科目名	対象学部・学科
英語聞社会1、2	英米語学科
英語国国際社会研究1、2	英米語学科
英米語ゼミナール(3、4年生)	英米語学科
アカデミック・スキルズ	CLED

授業の改善と工夫

改善と工夫内容
アカデミック・スキルズ科目において、オリジナルの教材（スライド）を作成し、科目担当の専任教員および非常勤講師と共有し、年一度授業改善で利用運用の感り返りと問題点、工夫した点の共有を行っている。